

## DI 委員会トピックス

### ヘモグロビンA1c（HbA1c）の国際標準化について

#### 概要

ヘモグロビン A1c（以下 HbA1c）は、ヘモグロビンが血液中のブドウ糖と結合した物の一部で、過去 1～2 か月の血糖状態を反映するため、糖尿病の診断や治療状況の指標として利用されている。

我が国での HbA1c 値は Japan Diabetes Society：日本糖尿病学会値（以下 JDS 値）が使用されているが、現在、国際的に広く使用されている HbA1c 値は、National Glycohemoglobin Standardization Program：国際標準値（以下 NGSP 値）であり、我が国においても 2012 年 4 月より国際標準化され、NGSP 値が採用される。

HbA1c の NGSP 値と JDS 値の関係を以下に示す。

| 変更前（JDS 値） | 変更後（NGSP 値） |
|------------|-------------|
| 5.0%未満     | JDS 値+0.3%  |
| 5.0%～10.0% | JDS 値+0.4%  |
| 10.0%以上    | JDS 値+0.5%  |

日本糖尿病学会では、糖尿病患者における HbA1c 値のコントロール目標値として、5.8%未満を優、5.8～6.5%を良、6.6～7.9%を可、8.0%以上を不可としているが、今回の NGSP 値の採用により、NGSP 値に読み替えて適用する必要がある。

| コントロールの評価 | 変更前（JDS 値） | 変更後（NGSP 値） |
|-----------|------------|-------------|
| 優         | 5.8%未満     | 6.2%未満      |
| 良         | 5.8～6.5%   | 6.2～6.9%    |
| 可         | 6.6～7.9%   | 7.0～8.3%    |
| 不可        | 8.0%以上     | 8.4%以上      |

しばらくは、これまでの JDS 値も併記されるが、最終的には NGSP 値だけの表示となるため、患者に対して十分啓蒙する必要がある。なお、特定健診や保健指導では、混乱を防ぐため、2013 年 3 月 31 日までは引き続き JDS 値が使用される。

#### 参考

社団法人日本糖尿病協会ホームページ <http://www.nittokyo.or.jp/>

日本糖尿病学会ホームページ <http://www.jds.or.jp/>

